

平成29年度	後期長期研修	校種・領域	小学校第3学年 社会
めざす 児童生徒像	自分たちの住む地域に誇りと愛情をもつことできる		
テーマ	未来を拓く児童を育てる社会科の授業		
サブテーマ	対話を生み出す学びと発問の工夫を通して(第3学年)		
概要	毎年、本校で大山大綱引きが開催されているにも関わらず、綱引きに参加したことがある児童は約3割しかいなかった。このことから、本校児童は、地域の伝統文化に対して関心が低いのではないかと推察されたことから、本テーマを設定した。 本研究では、大山大綱引きを受け継いできた人々の努力や願いを追究する過程で、対話を生み出す学びと発問を工夫することによって、「未来を拓く児童を育成することができるのでは」と仮説を立て実践に取り組んだ。 実際の指導では、「グループ対話」「全体対話」「地域人材の活用」を行い、大綱引きを保存継承している人々の努力や願いについて考えさせた。また、「ゆさぶり」や「ズレ」を起こさせる発問を工夫し、対話の活性化を図った。		
キーワード	未来を拓く、対話を生み出す学び、自分事、ゆさぶり、ズレ		
イメージ図			
成果	▶対話的活動を工夫したことで、地域の「過去・現在・未来」について考えることができ、伝統文化の良さや、それらを保存継承する人々の努力や願いに気づき、自分たちの住む地域を大切にしたいと思う気持ちが芽生え、未来を拓く児童を育成することができた。 ▶「ゆさぶり」や「ズレ」を起こさせる発問を工夫したことで、地域の良さや課題について意欲的に話し合う姿が見られ、それによって地域への関心が高まり「自分なりの社会参画の方法」を見つけることができた。		